

# 「X的Ø」の意味的機能と表現的機能についての一考察

譚

昕

## 0. はじめに

「X的Ø」とは、現代中国語において“的字结构”、或いは“的字短语”と呼ばれている名詞性要素であり、文の主語もしくは目的語となる。単語<sup>1)</sup>、もしくはフレーズから構成される「X」の後に接尾辞“的 de”を付加するという形式によって表しており、主要部である中心語<sup>2)</sup>が潜在的な存在であるため、「Ø」で示す。代表的な「X的Ø」の例を以下に挙げる。

- (1) a: “你准备买什么桌子?”

[どんなテーブルを買うつもり?]

- b: “我准备买木头的”。

[木製の (テーブル) を買うつもりだ。] (陆俭明 1999)

- (2) 野花遍地是: 杂样儿, 有名字的, 没名字的, 散在草丛里像眼睛, 像星星, 还眨呀眨呀的。 (史錫尧 1980)

[野花は至るところにある。様々で、名前があるもの、名前がないものの、草むらに混じって、目の如く、星の如く、まばたきをしているようだ。]

例 (1) b “木头的”、および例 (2) “有名字的” “没名字的” は上述した「X的Ø」の例である。このような要素が本稿の考察対象となる。

「X的Ø」に関する先行研究は今日に至るまで多く存在するが、そのほとんどは単語もしくは文を分析の最大単位としてきたため、「X的Ø」自身に分析の重点を置き、「X的Ø」とそれを取り巻くコンテキストとの相互の働きや影響に注目しなかった。

本稿は、従来の研究と違って、テキスト<sup>3)</sup>の相互関係を研究するテキスト言語学の視点を取り入れ、新しい角度から考察し、新しい説明を与えることを通じて、「X 的 Ø」がもつ意味的機能と表現的機能をより明確にすることを試みる。

## 1. 先行研究の問題点

本稿の着目点に近い先行研究を中心にまとめた結果、以下の問題点が存在していることが分かった。

### 1.1 問題点 I

まず、朱徳熙 (1978) は、動詞性成分が X となる「X 的 Y」において、Y が前方動詞の主語や目的語である場合、「X 的 Ø」という形式で表現できる。そうでない場合は「X 的 Ø」で表現することができないと説明している。例 (3) では、中心語“人”は“开车人”のように、“开车”の目的語<sup>4)</sup>となるので、「X 的 Ø」“开车的”を用いて表現することができる。一方、“开车的技術”では、中心語“技術”は“开车”の目的語や主語にはなり得ないため、「X 的 Ø」“开车的”を用いて表現することができないのである。

(3) 开车的人 [運転する人] → 开车的 (○)

开车的技術 [運転の技術] → 开车的\* (×) (朱徳熙 1978)

朱徳熙 (1978) と同じ観点を持っているのは呂叔湘 (1979) である。呂叔湘 (1979)《現代漢語八百詞》(1979) では、「X 的 Ø」は文において、「X 的 Y」に代わることができると指摘されている。動詞が X となる「X 的 Y」においては、中心語 Y がその前にある動詞 X の主語や目的語となり得る場合のみ、「X 的 Ø」を用いて表現することができる、と述べている。例 (4) では、中心語“歌”は“唱歌”のように、“唱”の目的語となるので、「X 的 Ø」“唱的”を用いて表現することができる。一方の例 (5) では、中心語“声音”は“唱”の目的語になり得ない (\*唱声音) ため、「X 的 Ø」“唱的”を用いて表現することができないのである。

- (4) 唱的 (歌) 是绣金匾。 (呂叔湘 1979。以下同)

[歌われているのは「绣金匾」という歌だ。]

- (5) 伴奏的声音太大, 唱的声音太小。

[伴奏の音量が大きすぎるのに、歌う声が小さすぎだ。]

以上は朱徳熙 1978 および呂叔湘 1979 における「X的 Ø」についての分析であり、非常に説得力のあるものである。しかし、ここにおける一つの疑問として、本当にその指摘されたとおりであれば、下記例 (6) は成立しないはずであるが、実際例 (6) b において、中心語である“技术”は“开车”、“修车”の目的語か主語になり得ないにもかかわらず、「X的 Ø」“开车的, 修车的”は、「X的 Y」“开车的技术, 修车的技术”を表すことになっているのである。果たしてこの分析が本当に妥当なものであろうか。

- (6) a: 你在技校里都学会了哪些技术?

[職業高校でどんな技術を学んだの?]

- b: 开车的, 修车的, 多着呢。 (袁毓林 1995)

[運転の (技術)、修理の (技術)、たくさんあるよ。]

## 1.2 問題点 II

次に、范继淹 (1979) は、名詞が X となる「X的 Y」において、X が所属を表す場合は、中心語 Y が譲渡できるものや、具体的な物事であれば、「X的 Ø」の形式で表現できる。反対に中心語 Y が譲渡できないものや、抽象的な物事であれば、「X的 Ø」の形式で表現できないと述べている。例 (7) では、中心語“书”が他人に譲渡できるものであるので、「X的 Ø」“我的 (书)”を用いて表現できる。一方の“眼睛”は他人に譲渡できないものであるため、「X的 Ø」“我的 (眼睛)”を用いて表現できない。

- (7) 我的书 [私の本] → 我的 (○)

我的眼睛 [私の目] → 我的\* (×) (范继淹 1979)

呂叔湘 (1979) は范继淹 (1979) と同じ観点を持つ。名詞が X となる「X的 Y」においては、中心語 Y が人あるいは具体的な品物を指す場合、「X的 Ø」の

形式で表現できる。反対に人の呼称や抽象的な物事を指す場合、「X的 Ø」の形式で表現できないと述べている。例 (8) では、中心語“行李”が具体的な物事であるので、「X的 Ø」“我的 (行李)”を用いて表現できるのに対して、例 (9) では、中心語“老师”は人の呼称であるため、「X的 Ø」“你们的 (老师)”を用いて表現できないのである。

- (8) 他的行李多, 我的很少。 (呂叔湘 1979。以下同)

[彼の荷物は多いが、私の (荷物) は少ない]

- (9) 我们的老师比你们的老师年纪大些。

[私たちの先生はあなたたちの先生より少し年上です。]

以上は呂叔湘 1979 および范继淹 1979 における「X的 Ø」についての分析である。ここにおける疑問として、分析されたとおりであれば、下記例 (10) は成立しないはずであるが、実際例 (10) において、中心語“目光”が抽象的な物事であるにも関わらず、「X的 Ø」“你的”は、「X的 Y」“你的目光”を表すことになっているのである。果たしてこの分析は本当に妥当なものであろうか。

- (10) 这时候他问：“你看到我女儿的目光吗？”我点了点头。我看到了自己死去妻子的眼睛。他又问：“你不感到她的目光和你的很像？”

(北京大学現代中国語コーパス<sup>5)</sup>)

[その時、彼は「私の娘のまなざしを見た？」と聞いた。私は頷いた。私には自分の死んだ妻の目が見えた。彼はまた聞いた。「彼女のまなざしはあなたの (まなざし) に似ていると思わない？」。]

### 1.3 先行研究における問題点の所在

以上、本稿の着目点に近い先行研究に対する疑問点を提示した。なぜこのような問題が生じたのだろうか。

上述したように、従来の研究はいずれも文レベルの分析にとどまっており、「X的 Ø」の特徴に分析の重点を置いていたため、「X的 Ø」とコンテキストとの相互作用や影響を特に問題視しないという結果になったのである。

そこで、従来の研究視点とは異なる新しい研究視点、即ち、テキストの相互

関係、文と文のつながりを研究するテキスト言語学の視点を取り入れる必要性がある。本稿は、このような新しい研究視点をふまえて、テキストにおいて「X的 〇」の意味的機能および表現的機能を考察していく。

## 2. 「X的 〇」の意味的機能

### 2.1 テキストの結束性をもたらす「X的 〇」

#### 2.1.1 結束性とは

まずはテキストの結束性についてみてみよう。結束性 (cohesion) は、テキストの特徴の一つであり、文と文のつながりというテキストを構成する要素である。以下、Halliday & Hasan (1976) の説明を借りて述べる。

結束性とは、「ある要素がその解釈を他の部分に依存することによって他の部分と結びつくこと、及び複数の文／節がそれらの間の連鎖的意味によって結びつくこと」である。また、結束性<sup>6)</sup>は指示、省略、代用、接続の四つの機能によって表される。

指示 (reference) とは、テキストのある位置に導入される参与要素ないし状況要素は、後続する要素にとっての照応点となり、人称代名詞・指示代名詞とその指示対象の関係がある。

省略 (ellipses) とは、節、節の一部、あるいは動詞群や名詞群の一部が、テキストの後の部分において積極的に省略されることで、その存在が前提とされることがある。

代用 (substitution) とは、本来あるべき要素の場所を保持する道具の役割をはたし、どこで省略がおこなわれたか、そして、省略された要素の文法的機能は何かということを示してくれる。

接続 (conjunction) とは、節ないし節複合、あるいはテキストを構成するより長い要素は、特定の意味関係の集合のうちのどれかによって後続する要素と関係づけられる、ということである。

## 2.1.2 「X的〇」の「指示」としての働き

以下の例文を見てみよう。

- (11) 王瘦吾家的人口日渐增多了。他上有老母，自己又有了三个孩子。小的还在娘怀里抱着。两个大的，一儿一女，已经都在上小学了。

(北大コーパス)

[王瘦吾家の人数は日々増えてきた。年老いたお母さんだけではなく、さらに3人の子供もできた。下のはまだ赤ん坊で、上の二人は、小学に通っている息子と娘だ。]

- (12) 电灯忽然会亮了，这屋的和那屋的。(邵敬敏 1987。以下同)

[照明が突然使えるようになった、この部屋のとあの部屋の。]

- (13) 画报上一定登那么大的照片，我的，胡四的，我们俩的，报纸上每天登着我们蜜月的新闻。

[画報にはああいう大きな写真が必ず載っていた。私の、胡四の、私たち二人の。新聞には私たちのハネムーンのニュースが毎日載っていた。]

上の例において、(11)では、“三个孩子”は、後にある「X的〇」“小的”、“两个大的”の照応先となっており、“小的”、“两个大的”は“三个孩子”に対する説明、解釈となっている。この“小的”、“两个大的”は、Halliday が指摘した指示代名詞と人称代名詞ではないが、照応先“三个孩子”にとっての解釈となっていることから、“小的”、“两个大的”は“三个孩子”を指し示す働きをしていることが分かる。(12)では、“电灯”は後続する「X的〇」“这屋的”、“那屋的”の照応先であり、“这屋的”、“那屋的”は“电灯”に対する解釈、説明となっている。言い換えれば、この文においても、“这屋的”、“那屋的”は、“电灯”を指し示す働きをしていることが分かる。さらに、(13)では、“照片”は、後にある「X的〇」“我的”、“胡四的”、“我们俩的”の照応先となっており、“我的”、“胡四的”、“我们俩的”は“照片”に対する補足説明になっている。

以上をまとめると、この三つの例文において、それぞれの「X的〇」表現は、Halliday & Hasan (1976) が指摘した指示代名詞、人称代名詞ではないが、同じ

テキストにある要素、つまり照応点に対する説明・解釈となっていることから、結束性の指示にあたる働きを果たしていることが伺える。

### 2.1.3 「X的〇」の「代用」としての働き

以下の例文を見てみよう。

- (10) 这时候他问：“你看到我女儿的目光吗？”我点了点头。我看到了自己

死去妻子的眼睛。他又问：“你不感到她的目光和你的很像？”

[その時、彼は「私の娘のまなざしを見た？」と聞いた。私は頷いた。私には自分の死んだ妻の目が見えた。彼はまた聞いた。「彼女のまなざしはあなたの（まなざし）に似ていると思わない？」。]

- (14) 虽然对那几十块钱的车费微微有些心疼，但转念一想，400块钱一张的球票都买了…崔巍家有一个从俄罗斯买回来的前苏联高倍军用望远镜，听说他们要去看球，主动提出要借给他们。崔巍一边把望远镜塞到杨刚手里一边揶揄：“我说，烧包，你们！800块钱的看他？！”

(北大コーパス。以下同)

[あの数十元の交通費で少し心が痛いけど、考え直してみれば、一枚400元もする観戦券も買ったし、…崔巍は彼らがサッカー試合を見に行くことを聞いて、ロシアで買った旧ソ連軍用高倍率望遠鏡を彼らに貸そうと言い出した。崔巍は望遠鏡を楊剛の手に押し込みながら揶揄した。「私に言わせてみれば、君達はお金を使いすぎだよ！800元をかけてでも、彼を見たいのか？！」]

- (15) 绿毛龟放在一个白瓷盆里端上来，背上的绿毛如水藻，颜色很深，头部还放着一朵红花。老老果然高兴，说：“我正想要一个活物，不管是个什么，只要活的就好。”

[ミドリガメは白い磁器に入れられて運ばれてきた。背中の緑の毛は水草の如く色がとても濃い。頭部には赤い花が置かれている。老老はやはりご機嫌になって、「ちょうど生き物がほしかった。何でもいいから、生きているのだったら十分だ」と言った。]

上の例文において、(10)では、“你的”、(14)では“800块钱的”、(15)では、“活的”がそれぞれ“你的目光”、“800块钱的球票”、“活物”という表現の置き換えとして、文と文の前後関係を結びつけている。

まとめてみると、以上三つの例文において、それぞれの「X的〇」表現は、結束性の代用にあたる働きを果たしていることが分かる。

#### 2.1.4 「X的〇」の「例示」としての働き（提案）

以上は、Halliday & Hasan (1976) による結束性理論を用いて、「X的〇」がテキストにおいて、「指示」と「代用」<sup>7)</sup>にあたるテキストのつながりをもたらす働き、つまり、結束性を持つことを示した。

一方、Halliday & Hasan (1976) が提示した四つの結束性機能のいずれにも属さないが、同じくテキストのつながりをもたらす働きをする「X的〇」の例もある。

- (16) 第119条 破坏交通工具、交通设施、电力设备、燃气设备、易燃易爆设备，造成严重后果的，处十年以上有期徒刑、无期徒刑或者死刑。过失犯前款罪的，处三年以上七年以下有期徒刑；情节较轻的，处三年以下有期徒刑或者拘役。

(北大コーパス。以下同)

[第119条 交通機関、交通施設、電力設備、配管ガス設備、燃えやすい・爆発しやすい装置を破壊し、深刻な結果を招いた者、10年以上の有期懲役、無期懲役または死刑に処する。過失によって上記の罪を犯した者、3年以上7年以下の有期懲役を処する。経緯が軽い者、3年以下の有期懲役を処するまたは拘留する。]

- (17) 第195条 有下列情形之一的，进行信用证诈骗活动的，处五年以下有期徒刑或者拘役，并处二万元以上二十万元以下罚金；数额巨大或者有其他严重情节的，处五年以上有期徒刑……（一）使用伪造、变造的信用证或者附随的单据、文件的；（二）使用作废的信用证的；（三）骗取信用证的；……

[第195条 以下いずれのことによって信用状詐欺の行為を起こした



場合（／者）、5年以下の懲役を処するまたは拘留する。その上、20万元以上20万元以下の罰金を罰する。金額が膨大または経緯が重大である場合（／者）は、5年以上の懲役を処する…（一）偽造、変造信用状または添付領収書、書類を使用した場合（／者）、（二）無効になった信用状を使用した場合（／者）、（三）信用状を騙し取った場合（／者）…]

上の二つの例において、(16)では“造成严重后果的”、“过失犯前款罪的”、“情节较轻的”、(17)では“进行信用证诈骗活动的”、“数额巨大或者有其他严重情节的”、“使用伪造、变造的信用证或者附随的单据、文件的”、“使用作废的信用证的”、“骗取信用证的”といった「X的〇」は、Halliday & Hasan (1976)が提示した四つの結束性機能と異なる特徴が見られる。特徴1、同じテキストに二つ以上の「X的〇」が存在しており、例示という形式で現れ、前方の内容に対する解釈や紹介である。特徴2、文法構造上は、全ての「X的〇」は、必ず同様もしくは類似の文法構造をもっており、接続詞が必要とされない。特徴3、意味上は、全ての「X的〇」は互いに並列・平等な関係であり、所属、説明、指示等の関係ではない。

このような「X的〇」は、Halliday & Hasan (1976)が提示した四つの結束性機能である「指示」、「省略」、「代用」、「接続」のいずれにも当てはまらないが、同じテキストにおいて意味的な関係であること、さらに前後の文を結びつける働きをしていることから、テキストのつながりをもたらし働き、つまり、結束性を持つことが伺える。本稿では、このような特徴がある「X的〇」に対して、「例示」という働きを有すると、提案を試みる。

## 2.2 まとめ

以上、「X的〇」の意味的機能について、テキスト言語学の視点を取り入れ、Halliday & Hasan (1976)による結束性理論を用いて考察してきた。

まとめると、テキストにおける「X的〇」は、結束性の「指示」と「代用」にあたる働きが見られたので、文と文のつながりをもたらし。つまり、結束性

をもつと結論付ける。また、「指示」と「代用」機能の他に、例 (16) (17) のような特徴をもつ「X 的 Ø」、つまり、Halliday & Hasan (1976) が示した結束性ではないが、同じくテキストを結束させる機能がある「X 的 Ø」も存在することが分かった。このような「X 的 Ø」の働きについて、本稿では「例示」という名前をつけて提案した。

### 3. 「X 的 Ø」の表現的機能

#### 3.1 話し手による主観性を表現する「X 的 Ø」

##### 3.1.1 主観性とは

言語表現における主観性 (subjectivity) について、尾上圭介 (1999) は、「発話の対聞き手的 (現場的) 行為としての側面」ということである、と述べている。また、沈家煊 (2001) は、「主観性は言語の特性の一つであり、……話し手が発話すると同時に、話の内容に対する自身の立場、態度と感情を表明することによって、自我の印を残すことである」と定義し、主観性に対する研究は主に「話し手の視点 (判断)・話し手の感情・話し手の認識」の三つの側面がある、と述べている。さらに、史彤嵐 (2005) は、主観を「話者主語 (話し手) の主観」と「文主語 (動作主) の主観」の二種類に分けている。

本稿では、以下、沈家煊 (2001) の考え方に基づいて、「X 的 Ø」の表現的機能について検証を行う。

##### 3.1.2 話し手の強調を表す「X 的 Ø」

以下の例文を見てみよう。

- (18) “给我当老婆！阿春，嫁给我吧。我要在长岛给你买个大的房子。咱们俩的。” (北大コーパス。以下同)

[僕の妻になって！春ちゃん、僕と結婚しましょう。僕は長島で大きな家を買ってあげたい。僕たち二人の。]

- (19) “噢，这是我妹妹刚给我的一种眼影，国外的，难怪您没见过。”

[ああ、これは妹にもらったばかりのアイシャドーだ。外国製なので、知らないのも無理はないわ]

上の例文では、「X的〇」表現を使い、話した内容の補足説明として、話し手の強調を表している。(18)では、「咱们俩的」が“大的房子”に対する補足説明であり、プロポーズの言葉として、“咱们俩的房子”を言わず、かえってその置き換え表現である「X的〇」「咱们俩的」を使用することによって、話し手の強調と誠意を表している。(19)では、“国外的”が前方の“眼影”に対する補足説明であり、“国外的眼影”に置き換えて「X的〇」である“国外的”を用いることによって、「珍しい、希少」ということを強調していることが分かる。本来、このような補足説明がなくても、テキストの構造や意味は変わらないのであるが、話し手の意図によって「X的〇」表現が付け加えられたことから、話し手の強調したい意図があると伺える。

沈家煊(2001)の主観性に対する説明によると、「……話し手が発話すると同時に、話の内容に対する自身の立場、態度と感情を表明することによって、自我の印を残すこと」が主観性であることから、「強調」という表現手法は話し手の感情を表明し、話し手の自我の印を残す働きがあると分かる。つまり、「強調」という表現手法は、話し手による主観性の表れであると考えられる。

よって、上の例(18)と(19)においては、「X的〇」を強調表現として使用することによって、話し手の主観性を表している。

### 3.1.3 話し手の感情的色彩を表す「X的〇」

以下の例文を見てみよう。

- (20) 不管他妈的是你，是你的女人，还是你的街坊四邻，都应当记住：你们上晓市作生意，要有黑旋风大太爷的人拿你们的东西，就是赏你们脸。今天，我姓冯的，冯狗子，赏给你女人脸，拿两包烟卷，她就喊巡警，不知死的鬼！

(北大コーパス。以下同)

[チクショウ、おまえであろうとおまえの嫁であろうと、おまえの隣人であろうと、みんなよく覚えとけ。朝市で商売して、黒旋風様の

手下がおまえらの物を持っていくのは、おまえらの光栄なんだぞ。  
今日俺、この馮が、馮サマが、おまえの嫁の顔を立てて、タバコを2  
箱とってやったのに、おまわりを呼ぶなんて、命知らずなやつだ！]

- (21) “老爷，你行行好，别让他这挨千刀的卖了我闺女呀！”

[旦那様、どうぞお恵みを！どうかこの万死に値する彼に、私の娘を  
売らないようにさせてください。]

- (22) 高中原有的三个班学生转走了的转走了，退学的退学了，只剩下几个  
歪瓜裂枣儿的自知无望，就流落街头巷尾摆摊自救去了。

[高校に本来にあった3クラスの生徒達は、転校する子は転校し、退  
学する子は退学していつてしまった。残された不細工なのは諦めて、  
路頭に迷い、露店を出して生計を立てた。]

上の三つの例において、(20) では、「X的〇」姓馮的」は人の呼称表現である。人の呼称表現として「X的Y」という完全な表現をせず、かえって「X的〇」を用いることで、話し手の感情的色彩を表していることが分かる。この例文では、話し手が自分の弱みを見せたくない、逆切れという感情的色彩を含むと伺える。また、(21) では、“挨千刀”という人をののしる言葉を「X的〇」“挨千刀的”の表現形式として使用することによって、話し手のマイナス的な感情的色彩をさらに強く表している。この例文では、話し手が強い怒りをもっていることがはっきりと伝わってくる。(22) では、“歪瓜裂枣儿”という比喻表現を「X的〇」である“歪瓜裂枣儿的”の表現形式にすることによって、人の醜さを描写するだけでなく、話し手のけなすという感情的色彩をより強く表現していることが分かる。

このように、話し手の感情的色彩を表すことによって、沈家煊（2001）が説明した「話し手の立場、態度と感情を表明し、話し手の自我の印を残す」という主観性を表している。言い換えれば、「X的〇」という表現形式は、感情的色彩という話し手の主観性を表すことができるといえよう。

### 3.2 まとめ

以上は「X的〇」の表現的機能について、テキスト言語学の視点を取り入れ、沈家煊（2001）による主観性の説明を用いて考察してきた。

まとめると、「X的〇」という表現形式は、テキストにおいて、(18) (19) のように話し手の意図による強調や、(20) (21) (22) のように話し手の感情的色彩を表す働きをしていることが見られたので、「X的〇」を使用することによって、話し手による主観性を表現することができると結論付ける。

### 4. おわりに

本稿では、現代中国語の「X的〇」という要素について、従来の研究と異なり、テキストの相互関係を研究するテキスト言語学の視点から、テキストにおいての意味的機能および表現的機能という二本柱で考察することを試みた。結論として、まずテキストにおいての「X的〇」の意味的機能については、Halliday & Hasan (1976) による結束性の「指示」と「代用」にあたる働きが見られたので、テキストを構成する結束性をもつと考えられる。また、Halliday & Hasan (1976) が示した結束性ではないが、同じくテキストを結束させる機能がある「X的〇」の働きに対して、本稿では「例示」という名前をつけて提案した。次に「X的〇」の表現的機能については、話し手の意図による強調、および話し手の感情的色彩を表す働きが見られたため、「X的〇」という要素は、沈家煊（2001）が指摘した話し手による主観性を表現することができるといえよう。

なお、本稿で得た分析結果は限られた例文によるものであるため、今後は、更なる例文分析を加え、その一般性を検証する必要がある。

#### 注

- 1) 名詞、代名詞、動詞、形容詞、区別詞、数詞等をさす。
- 2) 中心語とは、構造の中心的語彙（名詞句であれば名詞、動詞句であれば動詞など）であり、構造上の主要部である。

- 3) テキスト (text) とは、意味的に一つのまとまりをなす文 (連鎖) である (庵 2007)。その特徴の一つとして、「結束性」という文連続のつながり、まとまりがある。また、本稿では、「text」にあたる用語 (「テキスト」、「テクスト」、「談話」、「文章」) を「テキスト」で統一して用いる。
- 4) “人开车”のように、“人”は“开车”の主語であると捉える考え方もある。
- 5) 本稿で使用する北京大学現代中国語コーパスの例文は、2011 年 2 月～12 月のデータによるものである。
- 6) 文法的な結束性と語彙的な結束性がある。本稿で言う結束性は、文法的な結束性のみをさす。
- 7) 本稿では、「X 的 〇」の意味的機能について、Halliday & Hasan (1976) が指摘した結束性の「省略」および「接続」にあたる働きが見当たらなかった。

#### 〈参考文献〉

- ・ 范继淹 1979 〈“的”字短语代替名词的语义规则〉, 《中国语文通讯》第 3 期
- ・ 陆俭明 1999 〈“的”字结构和“所”字结构〉, 《现代汉语虚词散论》语文出版社
- ・ 吕叔湘 1979 《现代汉语八百词》, 辽宁教育出版社
- ・ 沈家煊 2001 〈语言的“主观性”和“主观化”〉, 《外语教学与研究》第 4 期
- ・ 史彤岚 2005 〈形容词重叠式作“得”后补语和状语——由“她把茶沏得酽酽的。”及“她酽酽地沏了一杯茶。”两类句式说起〉, 『中国語学』第 252 号
- ・ 史錫尧 1980 〈“的”字词组初探〉, 《语法・语义・语用》人民教育出版社
- ・ 袁毓林 1995 〈谓词隐含及其句法后果——“的”字结构的称代规则和“的”的语法、语义功能〉, 《中国语文》第 4 期
- ・ 朱德熙 1978 〈“的”字结构和判断句〉, 《现代汉语语法研究》商务印书馆
- ・ Halliday & Hasan 1976 『Cohesion in English. Longman (テクストはどのように構成されるか——言語の結束性)』安藤貞雄・多田保行・永田龍男・中川憲・高口圭 轉訳, ひつじ書房
- ・ Halliday 1994 『機能文法概説——ハリデー理論への誘い』山口登・笈壽雄訳, くろしお出版
- ・ 庵功雄 2007 『日本語におけるテキストの結束性の研究』, くろしお出版

「X的 Ø」の意味的機能と表現的機能についての一考察

(たん しん・お茶の水女子大学大学院博士後期課程)